

東宝見聞録

入学式 ～ようこそ東高校へ～

体育館横には薄桃色のソメイヨシノが咲き誇り、さわやかな青空が広がった4月9日(火)、真新しい制服に身を包んだ1年生71人が体育館に入場し、2・3年生の先輩たちが拍手で迎え入れる…本校ならではの入学式が今年も挙行されました。

式辞では、松山武史校長が、明治の英国留学生である長澤鼎は異国での困難や挫折を強い意志で乗り越え目標を実現したという偉人の活躍を挙げ、新入生の



皆さんも己の目標を実現するためにひたむきに努力することを大切にしてほしいと熱いメッセージを送りました。入学許可を受けた新入生は、緊張した面持ちでそれぞれのクラスに移動し、正副担任の先生方から高校生としての心構えなどの話を真剣に聞いていました。三年間という貴重な時間を有意義に過ごせるよう、様々なことにチャレンジしてほしいと思います。



新入生代表 向井 千恵さん

対面式・ 部活動紹介

4月10日(水)には対面式が行われ、生徒会長の古川樹梨さんが歓迎の言葉を、新入生の代表として川畑圭矢さんがこれからの高校生活への意気込みを堂々と話してくれました。

4月11日(木)の午後は部活動紹介もあり、2・3年生が普段の練習の成果を披露する姿を1年生は興味津々で見っていました。入部届を手に



顧問の先生を訪ねる1年生の姿が職員室で見られました。3年生にとって最後の総体が近づいてきました。多くの生徒が東高校を盛り上げていってほしいですね。



家庭訪問・ 三者面談

4月19日(水)～25日(木)は家庭訪問・三者面談が実施されました。1年生は自宅を訪問し家庭の様子をうかがったり、これからの高校生活について話をしたりしました。一方、2・3年生は事前に行った進路希望調査をもとに、進路を中心に話をしたようです。担任・保護者・生徒の三者でじっくり話をすることは、この時期以外なかなかありません。この1年をどのように過ごしていけばよいか、指標を見出せる貴重な時間と言えます。

面談を通して、生徒たちは新たな目標を立てたようです。来春、その目標が達成されているよう、頑張っていきましょう。

楽しかった一日遠足

4月26日(金)の朝、心配されていた天気は持ち堪え、シャージ姿の生徒たちが、足取りも軽くグラウンド外に停車しているバス

へ次々と乗り込んでいきました。1年生は平川動物園、2年生はみやまコンセル・高千穂牧場、3年生は知覧特攻平和会館とリバーバンク森の学校で、級友との楽しい時間を過ごすことができました。特に3年生は知覧特攻平和会館において、戦争や平和について考える時間を得ることができました。館内にある10代～20代の若者達の遺書を読み、写真を見ながら何かを感じたようです。



学年主任の牧瀬先生がおっしゃった「同じものでも、成長と共に感じる



4月19日(水)～25日(木)は家庭訪問・三者面談が実施されました。1年生は自宅を訪問し家庭の様子をうかがったり、これからの高校生活について話をしたりしました。一方、2・3年生は事前に行った進路希望調査をもとに、進路を中心に話をしたようです。担任・保護者・生徒の三者でじっくり話をすることは、この時期以外なかなかありません。この1年をどのように過ごしていけばよいか、指標を見出せる貴重な時間と言えます。



小論文ガイダンス



5月8日(水)7限に実施された小論文ガイダンスでは、2・3年生を対象に、志望理由・自己PRというテーマで田中潤一先生が話をされました。田中先生は、「～な〇〇になりたい」という柱をもとに、その目標となるイメージに必要な特長は何か?必要なスキルは何か?を考えていき、思いついたことをどんどん書き出していくことが大切であるということ



を、成功例とNG例を比較しながら、分かりやすく説明されました。生徒たちも熱心にメモを取りながら聞いていました。

2年生は1年後の夏、3年生は2ヶ月後の夏に仕上げなければなりません。今回のガイダンスをもとに、必要な情報を積極的に集めていってほしいですね。

的に集めていってほしいですね。

平成30年度の進路情報

○進学…第一希望合格率 100%達成!! 20人

- ・国公立大学 鹿児島県立短期大学(文・英語, 第二部・商経学科)
- ・私立4年制大学 福岡大学・人文・東アジア地域言語 筑紫女学園大学・文・アジア文化(特待生合格)
- ・私立短期大学 9人 各種専門学校 9人

就職…就職内定率 100%達成!! 30人

- ・事務職 7人内定 自衛隊, 販売製造職・サービス職など多数
- 鹿児島県農業協同組合中央会(JA鹿児島県連), 内村川上内科, 植村病院, コカ・コーラボトラーズジャパンセールスサポート(株)他
- 販売職:(株)AOKI, サービス職:ALSOK(警備)など

内容は異なる。その時感じたことを大切に、何度も訪れ学んでほしい」という言葉を胸に、大人になってからも是非この地を訪れてほしいと思います。